



須磨区計画

“魅力あふれる須磨” みんなで創ろう2020

計画期間／2016(平成28)年度～2020(平成32)年度

2011(平成23)年に須磨区区民まちづくり会議と行政がいっしょに、2025(平成37)年の須磨区の将来像を「地域の力と情熱があふれる住みよいまち—須磨—」と決めました。

将来像を実現していくにあたり、社会情勢や地域状況の変化などをふまえながら、より効果的に取り組みが進められるよう、5年ごとの実行計画を策定しています。これまで、2011(平成23)年度から2015(平成27)年度の須磨区計画に基づき取り組みを進めてきましたが、これらの成果や課題などをふまえ、2016(平成28)年度から2020(平成32)年度までの須磨区計画を以下の3つの方向性に基づき、策定しました。

平成28年3月 神戸市須磨区



2025年の将来像

地域の力と情熱があふれる住みよいまち ～須磨～

実現

区の特性に根ざした誇りとうるおいある

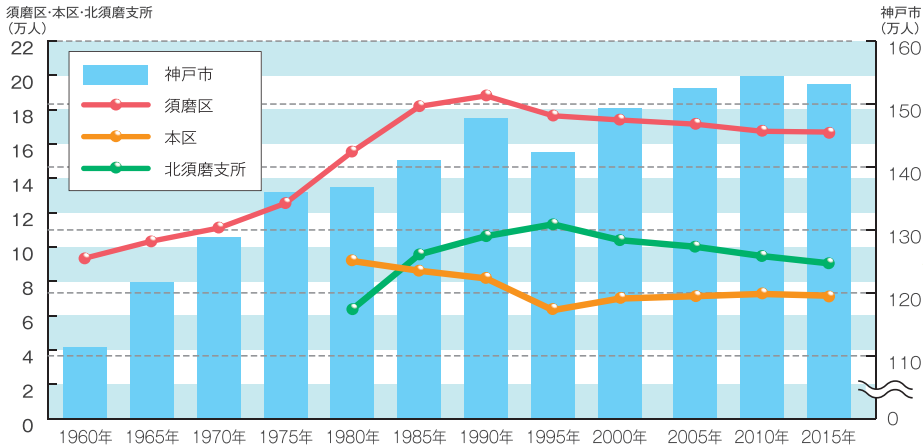
魅力が輝く
美しいまちをめざす

区民一人ひとりが笑顔で過ごせる
やさしさあふれる
元気なまちをめざす

区民生活やまちの基盤である
安全安心なまちをめざす

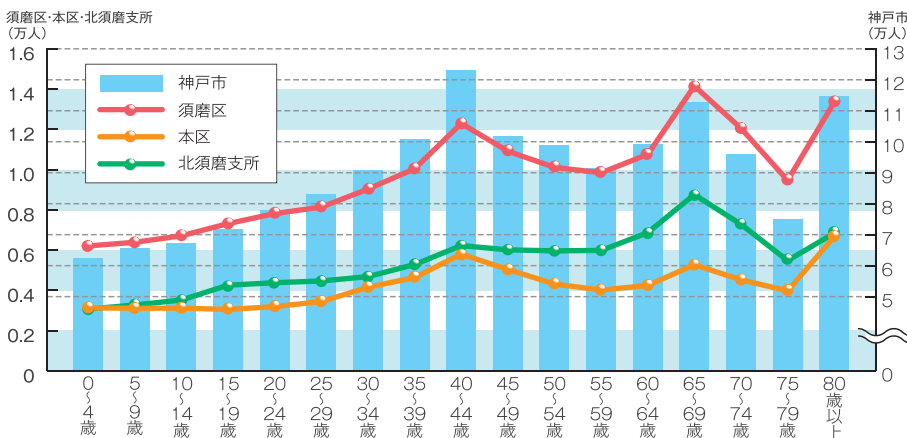
須磨区に関するデータ

◇人口推移(10月1日 国勢調査)※2015年は速報値 ※須磨区の人口は、南部の本区管内の人口と、北部の北須磨支所管内の人口の合計です。



須磨区の人口は、須磨ニュータウンの開発に伴い、昭和50年代から急増していましたが、60年代からは横ばいとなり、平成6年の約18万9千人をピークに微減の傾向が続き、現在約16万3千人となっています。

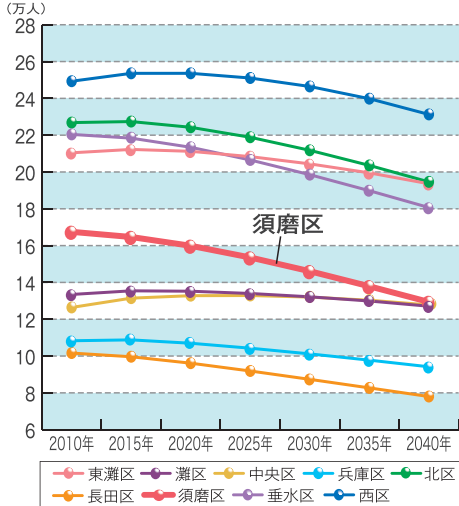
◇人口における年齢構成(2015年9月30日現在 住民基本台帳)



須磨区の年齢別の人口構成に関しては、神戸市全体に比べて、60歳以上の人口割合が高くなっています。特に、北須磨支所管内では、いわゆる団塊の世代の人口が多くなっていますが、その子世代については親世代に比べて人口が少なくなっています。

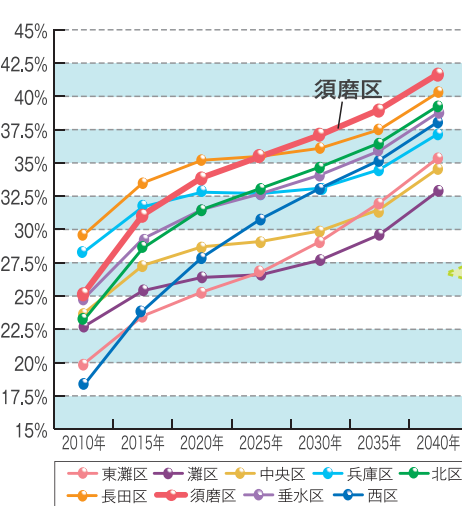
◇将来人口推計

(2013年3月 国立社会保障・人口問題研究所推計)



◇高齢化率(65歳以上人口/総人口)推計

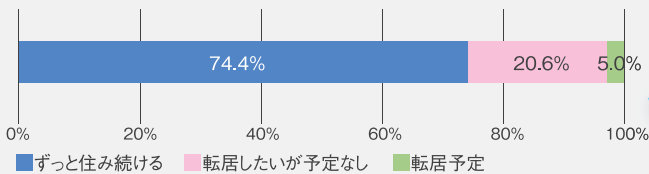
(2013年3月 国立社会保障・人口問題研究所推計)



須磨区の人口は、将来人口推計によると、2010年から2040年の人口減少率が非常に高くなっています。また、高齢化率においては、2025年に神戸市の中で一番高くなります。

区民まちづくりアンケートより

◆これからも須磨区に住み続けたいですか?



74.4%の方が「ずっと住み続ける」と回答しています。その理由として、47.2%の方が「住み慣れているから」と回答しています。一方、「転居したい、転居予定」と回答した25.6%のうち、18.6%の方が「日常生活に不便」12.5%の方が「親類の近くに住みたい」と回答しています。

須磨区の課題

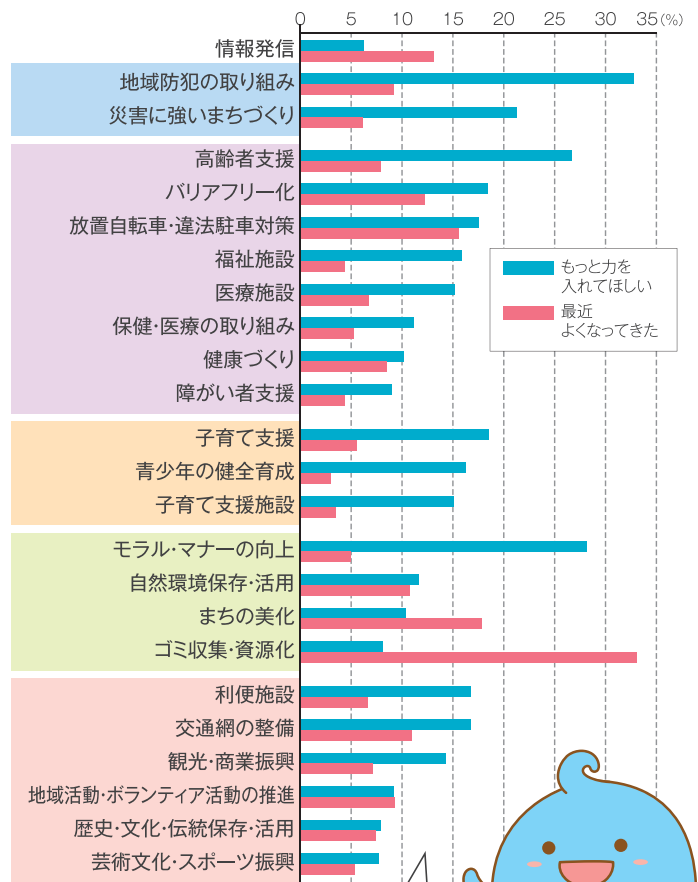
須磨区計画を策定するにあたり、課題の整理を行いました。

須磨区計画(2011年～2015年) 5つの重点テーマの実践での課題

安全・安心のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯情報・防災情報を的確に取得するための体制づくり ・地域での継続的な防犯活動・防災活動の実施 ・災害時要援護者支援の取り組み
ともに地域で元気にくらするまち	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就労・社会参加 ・高齢者を地域で支える仕組みづくり ・自主的な健康づくりや介護予防の場づくり
子どもが健やかに育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報の発信 ・父親の子育て参加 ・妊娠期から思春期まで様々な子育て相談に対応できる体制づくり
花と緑そして水に囲まれた美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・区の花「コスモス」や区の木「松」、妙法寺川公園などの桜のPR
地域の魅力を育み活かすまち	<ul style="list-style-type: none"> ・須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」のさらなる活用 ・ニュータウン地域の活性化 ・須磨の歴史・観光資源の活用

区民まちづくりアンケートから見る課題

～もっと力を入れてほしいと思う取り組み、最近よくなってきたと思う取り組み～



◆最近よくなってきたと思う取り組みは？

1. ゴミの収集・資源化 2. まちの美化 3. 放置自転車・違法駐車対策

◆もっと力を入れてほしい取り組みは？

1. 地域防犯の取り組み 2. モラル・マナーの向上 3. 高齢者支援

大学生の声

「大学生と須磨区職員の座談会」を実施し、意見交換をしました。

◆須磨区のイメージは？

- ・須磨海岸 ・歴史のまち ・住みやすい住宅地
- ・魅力は豊富であるが、意外と知られていない
- ・交通が不便、特に南北のアクセス
- ・治安がよくないなど、悪いイメージが先行している

◆若い人たちが住みたいと思うまちは？

- ・保育施設が充実しているところ
- ・公共交通機関が便利なところ
- ・お店が充実しているところ
- ・地域コミュニティがしっかりしているところ



住みたい・住み続けたいまちをめざして ～若い世代にも選ばれるまちへ～

須磨区は、若い世代の人口流出が多く、将来に向かって人口が減少し、少子高齢化が一層進んでいくことが予測されています。「須磨区計画」は、子どもや子育て家庭に対する地域全体での支援や、地域での防犯・防災活動の推進による、安心して子育てができる環境づくりを行うとともに、須磨海浜水族園や須磨離宮公園など区内各所にある観光・歴史の名所や、須磨海岸や須磨アルプス、妙法寺川などの豊かな自然環境の魅力を活かし、また、これらの情報発信を効果的に行うなどの取り組みを実践することにより、多くの人々が住みたい・住み続けたいそして若い世代にも選ばれる「地域の力と情熱があふれる住みよいまち―須磨―」の実現をめざします。



観光ガイドのもと区内の社寺や史跡を巡る(須磨まち歩き)



ニュータウン地域においてまちの将来像を考えるワークショップ



満開の桜のもとで楽しむ交流イベント(須磨妙法寺川さくらまつり)



異世代間交流を通じて命の尊さを学ぶ(命の感動体験学習)



地域における同年代の親同士が集える場づくり(子育てサークル)



地域の給食会における高齢者と小学生の交流・ふれあい



地域における感染症対策推進のための実習



中高生も参加して地域の防犯パトロール



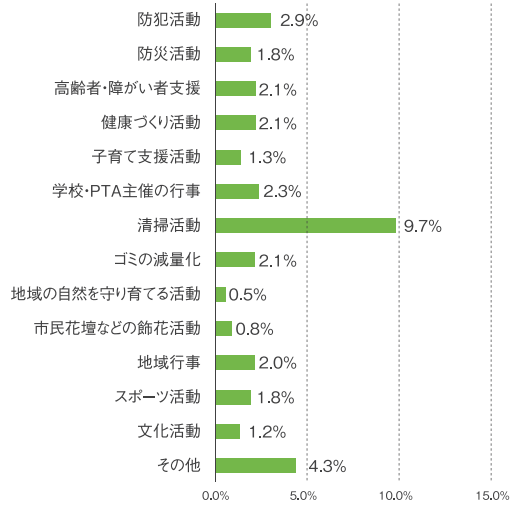
事業者が協力して地域を見回り(すま・地域ぐるぐるパトロール)

区民まちづくりアンケートより 地域での取り組みについて

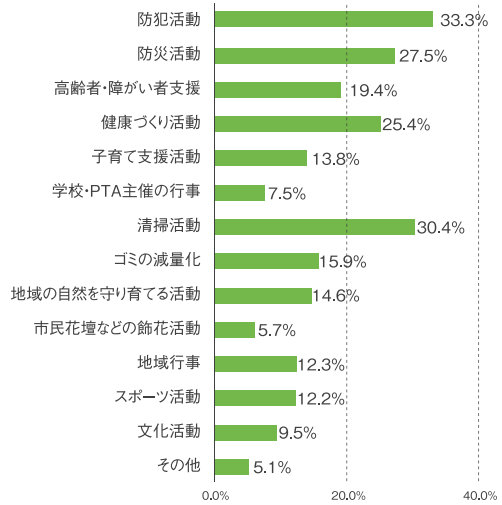
まちづくりには、
地域住民による活動が
重要となるほう



◆現在参加している地域での取り組みは？



◆今後、参加しようと思う地域での取り組みは？



地域活動を続けるために必要なこととして、37.6%の方が「団体内の良好な人間関係」、32.1%の方が「リーダーの育成」と回答しています。

2025年の将来像

地域のかと情熱があふれる住みよいまち～須磨～



重点テーマ	重点項目	重点事業	取り組みの方向性
<p>魅力が輝く美しいまちをめざす</p> <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★須磨区の魅力の認知度向上 ★須磨区を訪れる観光客の区内の回遊性向上 ★ニュータウン地域の活性化 ★地域活動への若年層の参加促進 ★須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」の認知度向上と活用 ★区の花「コスモス」や区の木「松」、妙法寺川公園などの桜のPR 	<p>若い世代にも選ばれるまち</p> <p>地域の魅力を育み活かすまち</p> <p>花と緑にあふれる美しいまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●須磨の観光・歴史資源の活用 ●ニュータウン地域の活性化 ●多彩な人材と地域の特性を活かしたまちづくり ●「すまぼう」を活用した須磨のPR ●須磨海岸の魅力向上 ●美しいまちづくり ●環境にやさしいまちづくり ●自然環境の保全・活用 ●花と緑の名所に親しむ取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力ある観光・歴史資源を活用し、須磨観光協会と連携して観光地としての須磨の魅力を高めます。 ◆ニュータウンへの愛着づくりを進めるとともに、ニュータウンの魅力を区内外へ広く発信します。また、住民と協働で、ニュータウンの抱える課題や魅力などを洗い出し、まちの将来像づくりを進めるとともに、実施可能な取り組みから実践していきます。 ◆地域主体による須磨区の魅力を活かした取り組みへの支援や、大学との連携を推進するなど、多彩な人材を活かしたまちづくりを進めます。 ◆須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」を活用し、区民の須磨区に対する愛着づくりや須磨区の魅力の効果的な情報発信を進めます。 ◆区民と行政が協働で、誰もが須磨海岸に親しめるよう魅力の向上を進めます。 ◆クリーン作戦の実施やポイ捨て防止の啓発など、区民と行政の協働による美化活動やモラル・マナーの向上に取り組み、美しいまちづくりを進めます。 ◆小学生を対象とする「ふれあいごみスクール」をはじめ各種講座や学習会を開催し、広い世代にわたる環境問題への関心を高めるとともに、「ワケトンリーダー（ごみ減量推進員）」など循環型社会づくりの担い手の育成を進めます。 ◆区民と行政が協働で、須磨区の恵まれた自然環境を守り育て、次世代に伝えていく取り組みを進めます。 ◆須磨区の花「コスモス」や須磨区の木「松」など、花と緑の名所を多くの区民が親しめる取り組みを進めます。
<p>やさしさあふれる元気なまちをめざす</p> <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★子育て世代のニーズへの対応と父親の育児参加への意識啓発 ★子育て支援における切れ目のない支援体制づくり ★ユニバーサル社会の実現に向けた区民の意識向上 ★障がい者の就労・社会参加を促進するための支援 ★高齢者などを支える地域のつながりと担い手の拡大 ★地域における健康づくりや生活習慣病予防の幅広い世代への対応 	<p>子育て・親育ちを応援するまち</p> <p>人にやさしく支えあうまち</p> <p>健康で元気なまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●父親力の育成と地域で活躍するきっかけづくり ●次世代のいのち・こころ・からだを育む子育て支援 ●人と人をつなぐ情報発信 ●まち・くらしの中での子育て支援の推進 ●ユニバーサル社会の実現 ●年齢や障がいにかかわらず誰もが交流できるまちづくり ●住み慣れた地域で支え合いながら安心して暮らせるまちづくり ●地域の個性を活かした健康づくり ●健康づくり情報の収集・発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◆父親の育児参加の啓発を行い、子育てを通して父親が地域に目を向け、参加できるきっかけづくりを支援します。 ◆小中学校における「命の感動体験学習」や、高校生や大学生への児童虐待予防啓発など命の大切さを学ぶ場づくりを継続し、次世代の親育ての取り組みを進めます。 ◆スマートフォンの普及などに対応した子育てに関する相談や情報発信を充実します。 ◆子育て地域連絡会などを通じて顔と顔の見える関係づくりを進めるとともに、「すまっこサポーター」と連携しながら、地域における妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制づくりを進めます。 ◆ユニバーサル社会の考え方の普及・啓発活動を継続するとともに、駐輪マナーの向上に取り組みます。 ◆高齢者が閉じこもることのないように、高齢者と地域住民の交流・ふれあいを進めます。また、障がい者福祉サービス事業所による自主製品の開発や販路拡大など障がい者の就労支援・社会参加を促進し、障がい者と地域住民との交流・ふれあいを進めます。 ◆高齢者を地域で支える保健・医療・福祉のネットワークシステム（地域包括ケアシステム）の充実を図ります。また、地域福祉の担い手を発掘・育成し、高齢者の見守り活動、虐待防止や認知症高齢者の支援に取り組みます。 ◆健康寿命の延伸に向けて、「健康づくりリーダー」や「ウォーキングメイト」などの地域単位の自主的な健康づくり活動や、介護予防の場づくりを支援します。また、子育て世代や50歳代～60歳代のいきいき世代などさまざまな年齢層の健康づくり、生活習慣病予防の取り組みを進めます。 ◆さまざまな健康情報の収集・積極的発信を行うとともに、感染症対策を進めます。
<p>安全安心なまちをめざす</p> <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★防犯・防災情報発信における内容の充実、即効性の向上 ★防犯・防災活動への若年層の参加促進 ★研修・勉強会参加者の拡大 ★協力事業者の増加 ★要援護者支援条例に即した、地域における災害時共助体制づくり 	<p>地域防犯力の高いまち</p> <p>地域防災力の高いまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯活動の推進 ●青少年の防犯に対する意識向上 ●事業者との連携体制づくり ●安心して暮らせる環境づくり ●地域防災活動の推進 ●青少年の防災に対する意識向上 ●災害時要援護者対策の推進 ●災害時の連絡体制の充実・強化 ●事業者との連携体制づくり ●安心して暮らせる環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「須磨区防犯アカデミー」や活動事例勉強会などを引き続き開催し、防犯活動の担い手育成やグループ間の連携・交流の場づくりを進めるとともに、地域で活動を継続して実施できるよう防犯情報の共有や防犯資材の支援を行います。 ◆青少年に対する「メディアリテラシー」熟成研修などの実施により、犯罪から自己を守る意識向上を図ります。また、地域活動への青少年の参加を促し、青少年が地域の安全安心を考えるきっかけづくりを進めます。 ◆「すま・地域ぐるぐるパトロール」を推進し、地域防犯活動における事業者との連携体制づくりを進めます。 ◆街灯の32W化を進めるとともに、防犯カメラの設置を支援し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。 ◆的確でタイムリーな防災情報の共有体制を構築し、防災に関する意識啓発を進めます。また、従来の防災リーダー研修や防災訓練などの実施内容の見直しを行い、若年層を含めた地域の防災活動への参加を促進します。 ◆トライやるウィークやジュニア防災学習などを実施することにより、青少年の防災に対する意識向上を図ります。 ◆災害時要援護者対策をふまえた防災訓練の実施などによる区民への意識啓発を進めるとともに、関係機関との連携促進により、地域における災害時要援護者支援体制づくりを支援します。 ◆須磨区安全会議や防災連絡会での意見交換・研修などを行うとともに、地域ごとの災害時初動期の対応計画書「地域お助けガイド」の作成への支援を行い、住民・事業者・行政の災害時における連絡・連携体制の充実・強化を図ります。 ◆防災協力事業所の登録を推進し、地域防災活動における事業者との連携体制づくりを進めます。 ◆防災マップの作成、まちかど救急ステーションの登録、市民救命士の養成を推進し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。



「すまぼう」によるステージ出演(須磨音楽の森)



海水浴シーズン前後に海岸を清掃(須磨海岸クリーン作戦)



ワケトリーダー(ごみ減量推進員)による分別の啓発



障がい者と地域住民の交流・ふれあい(すまろしえ)



健康づくりリーダーの活動を支援する講習会



須磨の豊かな自然環境を学び親しむ(自然を訪ねるウォーキング)



子どもたちとともにバケツリレーを体験(須磨区総合防災訓練)



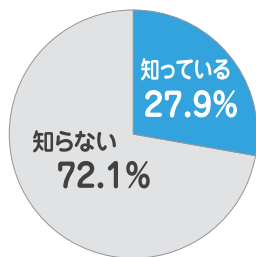
お年寄り・車いす利用者等の避難時の行動をシミュレーション



神戸女子大学の学生が消防団員として防災活動に参加

区民まちづくりアンケートより

◆須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」を知っていますか？



須磨区マスコットキャラクター

すまぼうのプロフィール

すまぼうは須磨の海に住むうみぼうず

- 誕生日:12月24日 ●性別:男の子
- 性格:のんびり屋で優しいけど、実は負けず嫌いな。怒ると家(海)出する…?
- 趣味:食べ歩きと山登り(でも須磨より東の山には登ったことがないぼう)
- 特技:にっこりポシェットから須磨の美味しいものを出すこと、ぼーっとすること
- 好きな場所:須磨海岸と六甲山系(特に夕日が好き)

みんなと一緒に
須磨区を
盛り上げるぼう!



参考 須磨区計画策定までの主な経緯

策定にあたっては、区民のみなさんなどからご意見をお聞きし、とりまとめました。

◆区民まちづくりアンケート

- ・期間/平成 26 年 9 月 24 日～ 10 月 17 日
- ・対象/ 20 歳以上の須磨区民
- ・配布数/ 3,300 票
- ・回収率/ 33.3%

◆大学生と須磨区職員の座談会

- ・日程/平成 27 年 7 月 4 日
- ・参加大学/神戸女子大学、神戸大学、流通科学大学
神戸市看護大学、神戸学院大学

◆須磨区区民まちづくり会議

- 総会
- ・日程/平成 27 年 11 月 4 日、平成 28 年 3 月 25 日
- 部会
- ・日程/安全・安心のまち部会 平成 27 年 8 月 28 日
地域共生のまち部会・子育て支援部会 平成 27 年 8 月 25 日
美緑花のまち部会・魅力資源を活かすまち部会 平成 27 年 8 月 26 日

◆市民意見募集(パブリックコメント)

- ・期間 平成 27 年 12 月 8 日～平成 28 年 1 月 15 日

須磨区のすがた

須磨という地名は、六甲山系の西端、鉢伏・鉄拐山が海に迫る平地のすみで、畿内の西端に位置することから、“すみ”がなまって「すま」になったといわれています。

須磨は、古い歴史を持ち、阪神・淡路大震災による壊滅的な被害から復興した既成市街地と、住宅、道路、公園などが計画的に配置され昭和40年代から入居が始まったニュータウン、都市近郊に今も田園風景を残す農村地域、これらの地域を森・川・海が包み込むように構成されています。

区内には、白砂青松の須磨海岸や須磨アルプス、妙法寺川などの身近な自然環境がまちに隣接し、源平合戦や源氏物語などの歴史、文学を語る史跡、名所がいたるところにたずみ、古から風光明媚な住みよい土地柄としても知られています。

主な魅力スポット

アクセス



受け継がれる伝統



車大歳神社翁舞(1月14日)
国指定重要無形民俗文化財



妙法寺の追儺式(1月3日)
市登録無形民俗文化財



勝福寺の追儺式(1月7日)
市登録無形民俗文化財



多井畑カネタタキ(旧暦8月13日)
市登録無形民俗文化財



須磨琴(一絃琴)
県指定重要無形文化財

発行:平成28年3月
須磨区役所 〒654-8570 神戸市須磨区大黒町4丁目1-1 TEL:078-731-4341
神戸市広報印刷物登録 平成27年度 第654号(広報印刷物規格B-1類)



City of Design
KOBETW

BE KOBE

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。